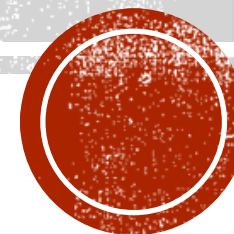


「電子書籍」とは

今回は「紙の書籍」と「電子書籍」の違いをお話したい。

（ **KINDLE**出版の手続き、税の話等、要望があれば別の機会に）



2022年7月28日（木）

HYS

電子書籍とは

- 紙媒体で出版されていた「本」を電子データ化し、電子機器の画面で読めるようにした書籍のことです。
- 「電子ブック」「デジタル書籍」「e-Book」などと呼ばれることもあります。

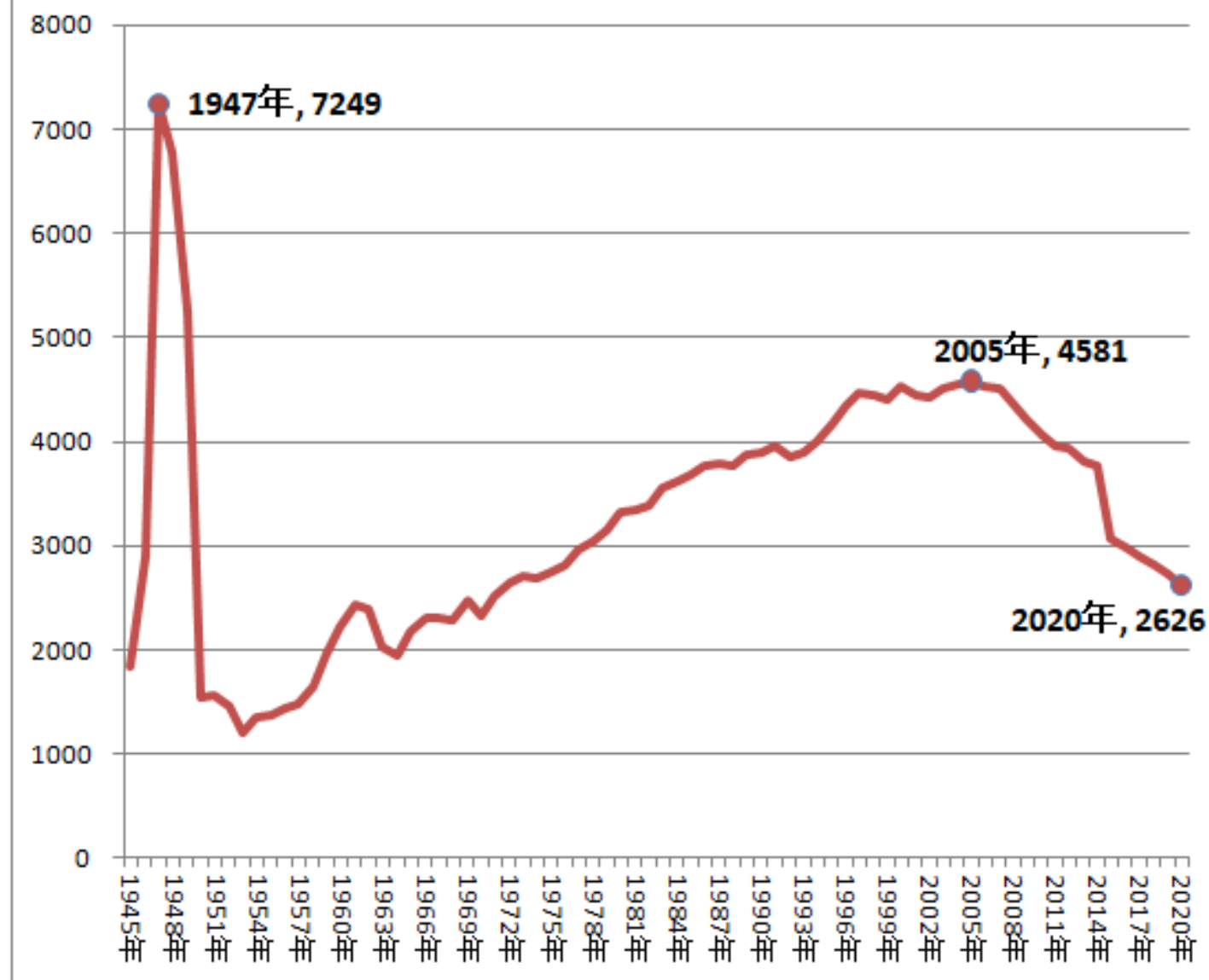


○ 本日本話する内容

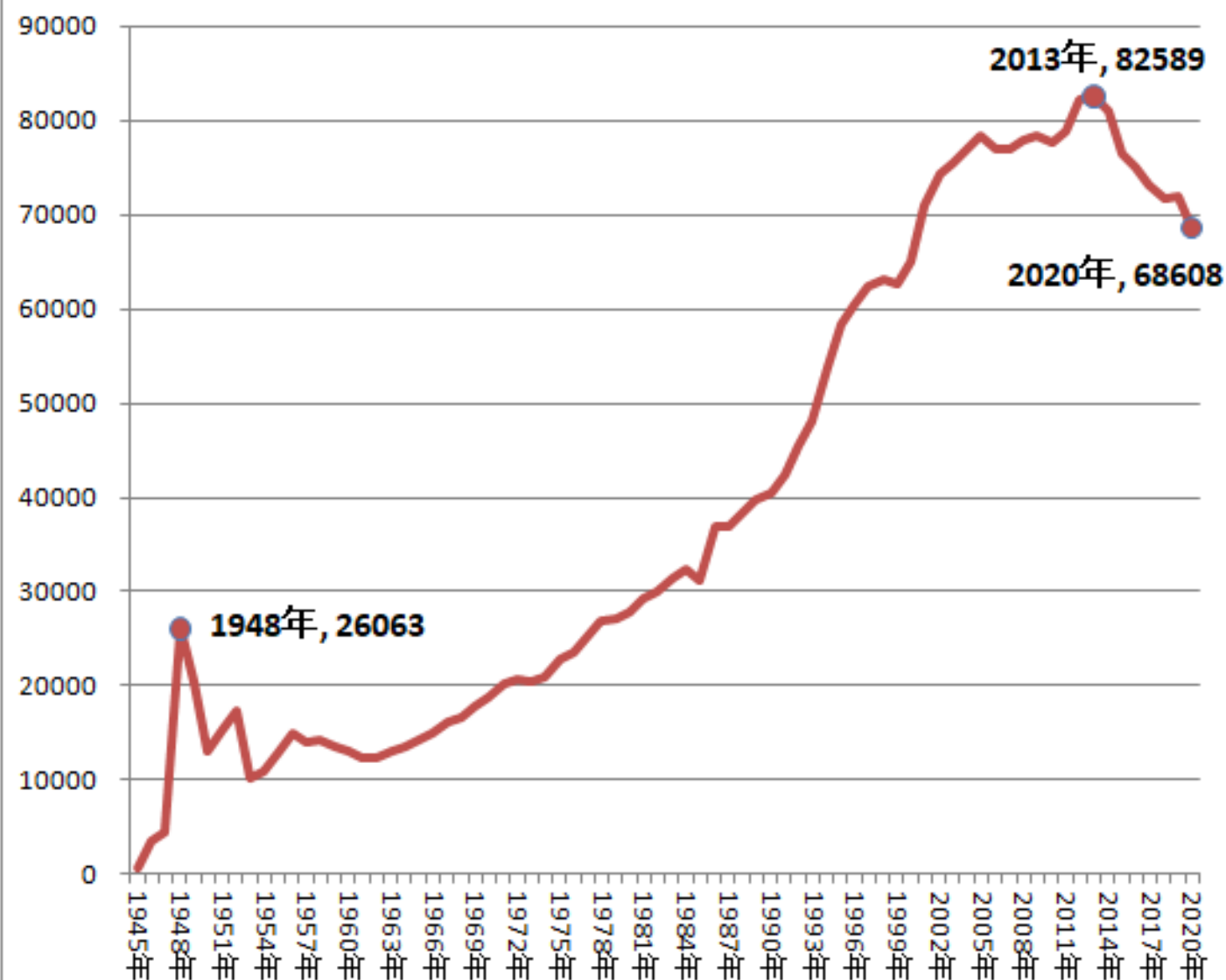
- 書籍を取り巻く状況
- 書店の変遷
- 電子書籍とは
- メリットとデメリット（地球環境面、読者、著作者、出版社 等の様々な立場から）
- 電子化されている書籍のジャンル
- 電子書籍サービス会社
- （小説を書こうとしたきっかけ）
- 体験から学んだ電子書籍の魅力
- 電子書籍の利用の仕方



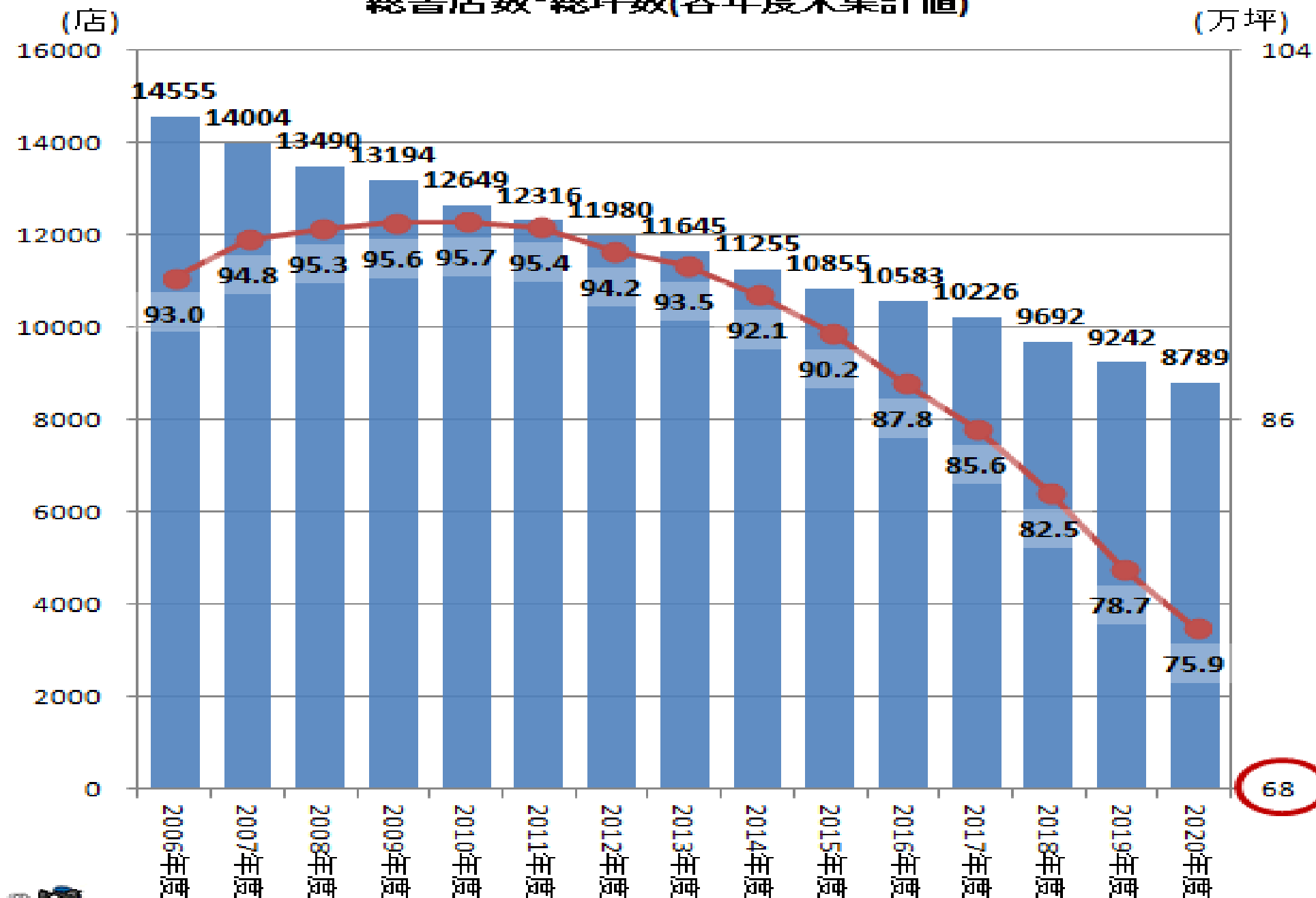
雑誌出版点数(「出版年鑑」ベース
・2015年以降は「出版指標年報」ベース)



書籍出版点数(「出版年鑑」ベース
・2015年以降は「出版指標年報」ベース)



總書店數・總坪數(各年度末集計値)



◎ 廃棄本の実態

- 右肩上がりの時代ではない
- 人口は減少し、本は売れなくなっていく。全体的にシュリンク。
- 書店の仕入れの仕組み上、ほとんどの商品は**委託**という形で預かって販売しています。残った本は必要な数を残して**返品**という形で**取次**さんに送り返しています。
- 返品された雑誌はそのまま断裁
- 出版科学研究所のデータによると、2019年の**返品率**（金額ベース）は書籍が35・7%、**雑誌は42・9%**。ただしこれはベストセラー、ロングセラー作品のように**返品率**が極めて低いものも含めた全体の数字。ピンポイントで見ると、**書籍は5割を超えるものも多い**。**作ったものの半分も売れない**のでは、製造業としてすでに破綻している。



出版業界の流通の仕組みとお金と役割

- 1冊の本が売れた時の、出版流通における**取り分**はおおよそ以下のようになっています。
 - 著者(10%) — 出版社(60%) — 取次(10%) — 書店(20%)
- **出版業界は出版社が儲かる仕組み**
- **出版社はリスクを追っています。委託制度**があるため、売れなかった本が戻ってくる可能性があります。その損失は、全て出版社が背負うことになります。
- 出版社は、本の注文が入らなくても売れていなくても、新しい本を出すことにより、その本は委託制度により書店が欲しい欲しくないに関わらず、全国の書店に配本されることになります。それはつまり、出版社に（一時的に）お金が入ることになります。
その「新刊の発行」と「返品」を繰り返しながら、ベストセラーなどの**ヒット作が出るのを待つようなビジネスモデル**をとっています。



△ 書店は潰れにくい

- 書店は店舗を構え、人を雇って給料を払いながらお店を出しています。そのため、本が売れても売れなくても経費はかかります。しかし、売れなかった本はどうするかというと、取次経由で**出版社に返品**をします。

書店は儲からないけど、潰れにくい仕組みがここにあります。他の小売店に比べて利益が少ないですが、**在庫のリスクがありません**。



電子出版の歴史

- **1985年** 国内最初のデジタル書籍だと言われている三修社から刊行された「最新科学技術用語辞典」（大量なデータを配布するためにCD-ROM使用）
- **1990年** CD-ROMを利用した「Data Discman」なる商品を発売（ソニー）、世界初のデジタルコンテンツ専用リーダー：

「読みにくい」「快適ではない」とブームにならなかった

1990年代後半 インターネットの普及が本格化

- **2007年** Amazonが「**Kindle**」を発売 長年オンライン書店を運営してきた実績を生かし、豊富なコンテンツや低価格、洗練された機能などを実現



電子書籍を読むのに必要な端末

- 普段から使っているパソコン
- タブレット
- スマホ
- 電子書籍の利用に特化した「電子書籍リーダー」



電子書籍の買い方

- 無料の書籍もある
- お金を払って購入

本屋に足を運ぶ必要は無い

インターネットを使って電子書籍の販売をしている「電子書籍ストア」にアクセスすればよい

- ほしい本を探すための検索バーがあるので、そこに作品名や作者名を入力。
- 目当ての作品がピンポイントで簡単に検索できます。
(通販で商品を買う時と同じ)



購入

- 現金は使えない
- クレジットカード
- 電子マネー
- キャリア決済（携帯電話料金と合算で支払）
等が一般的



読者の情緒（電子書籍へのアレルギー反応等）

紙派

- 本とは紙に目を通して読むものでしょう！
- ページめくりが読書の楽しみ！（本の匂いが好き）
- 書店で表紙を眺めて気になった本をパラパラ。。。。

至福の時間！

紙の本はなくしてはいけない文化だと信じる人種もおられる。

電子書籍もありかな派

- 家から出ずに購入できる。 他人に見られず買える。
- 持ち運びも楽。
- 保管場所を取らない。
- 読むのは好きだが「蔵書」に関心が無い。



著作者の立場から（高名な著作者は電子化に反対な人が多い）

- (1) 不正コピー（ネット上の海賊版）への心配
- (2) 紙の売り上げ減少への不安
- (3) セルフパブリッシングで安直に儲けたいと目論む者が生まれる。（著作とは特殊な才能であるとの自尊心）
- (4) あまり売れないだろうからやっても意味が無い。
- (5) 電子書籍では頭に入らないだろう（読者へのおせっかい）
- (6) 有名作家か無名のアマチュアかの属性が剥ぎ取られる。
（著作者のプライド）



電子出版の長所（**読者**の立場から）

- **安価である。**
 - 電子データは長く残すことが出来る
 - **読む手段が多い**（パソコン、タブレット端末、Kindle専用端末、スマートフォン）
 - **読者が**フォントサイズ、行間、画面の余白**を自分で設定変更**できます。
 - 目次にクリックすれば**該当ページにジャンプ**
 - 電子本に**マークを付けたり、書き込み**が出来る。
 - 世界中の人が読むことが出来ます。
-
- データで販売されますので、在庫切れになることがない。
 - 販売価格は紙の書籍とは別の価格にすることも可能。



△ 電子書籍のデメリット（客観的観点）

- 端末の電池が切れたら読めない
- 端末のストレージ容量を圧迫する（データ容量）
 - ⇒ クラウドから読む
- 売却ができない
- 紙媒体と比べて発売日が遅いこともある
- 古書は電子化されていないものが多い
- サービスが終了して本が読めなくなる可能性がある
（運営会社が倒産すればサービス終了）



電子書籍のメリット（客観的観点）

- 紙の本より安く購入できる。（無料の試し読みができる）
- 置き場所に困らない（データとして取得・利用出来る）
- 持ち歩きがしやすい
- （基本はクラウドに保管、インターネットを經由して読む）
（ダウンロードも可）
- 経年劣化せず、紛失もしづらい
- ほしい本が家からすぐに見える（インターネットに繋がっている事が必須）
- 誰にも見られずに気兼ねなく本を買える
- 暗い場所でも読むことができる（部屋の電気をつけず）
- PCやタブレット使用で大画面で楽しめる



電子書籍の課題（出版社の立場から）

- 「書籍を電子化しない理由は？」
- 「書籍の電子化に対する著者の反対意見は？」などの質問・回答から
- 書籍の電子化において障害となっているのは何か
- (1) 権利処理の手間： 紙版の契約と同時に電子化の契約がなされず、電子化の際に改めて手間がかかる。著作権者が複数おり、許諾の手間がかかる。デジタルデータには目が厳しい。
- (2) 売上やコストの問題： 既刊本ではOCRスキャンによる制作コストがかかる。
- (3) 電子化についての編集現場の意識が希薄で認知が低い。
- （紙の本が好きで出版社に入社しました！）



◎ 電子書籍を出版する事の魅力

(著作者の立場から)

- 出版社、編集者、印刷所等を介さず自分で出版可能
- 自分のペースで書ける。出版出来る。
- 「いつか自分も自由に出せる」という夢を与えてくれる。
- コストもほぼゼロで出版出来る。
- 紙の出版に伴う経済的リスクをゼロにできる。

(Kindleでの個人出版についてその、あまりのお手軽さに、拍子抜けした。。。) との感想も多い。



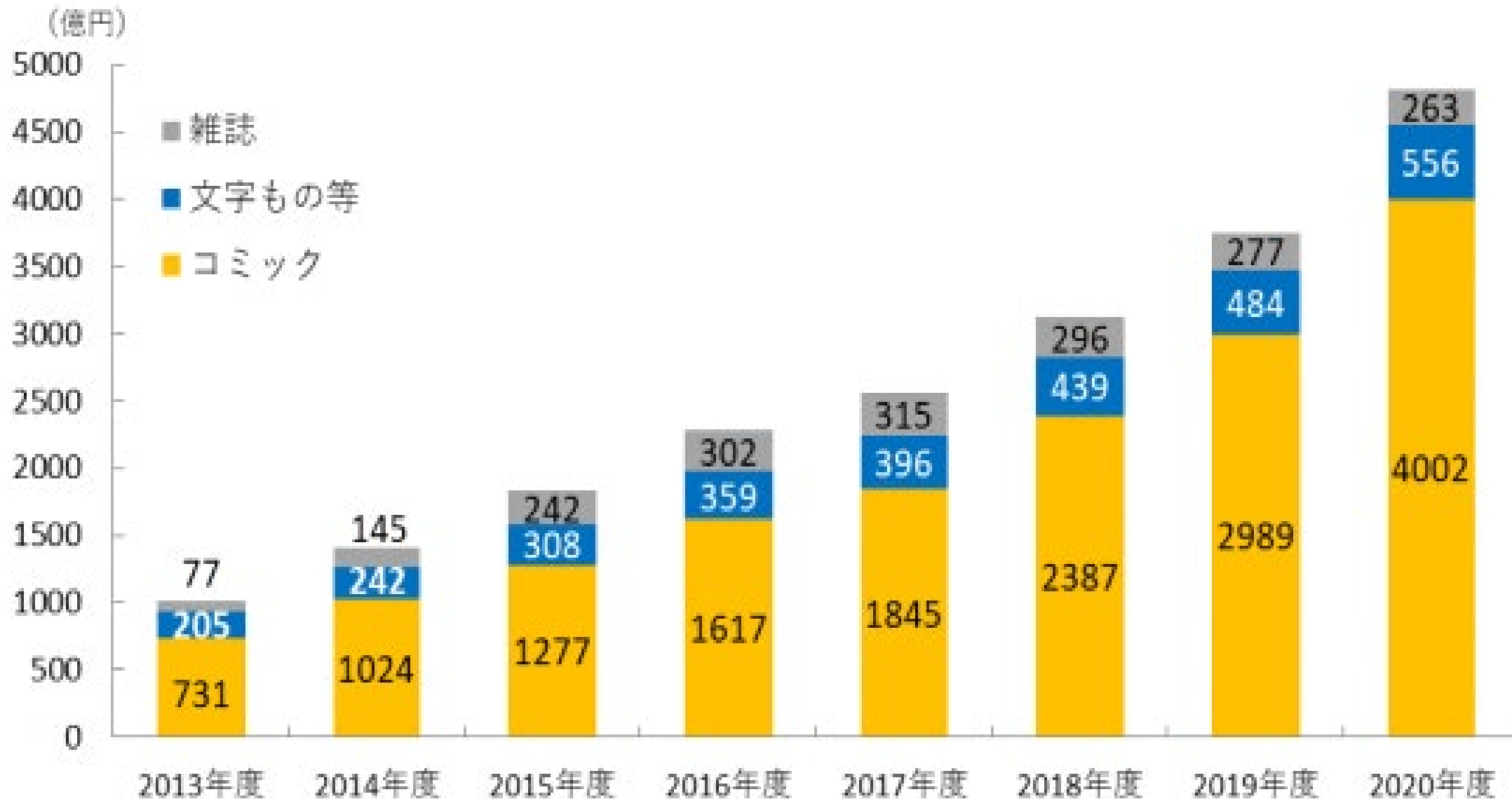
電子化されている書籍のジャンル（新刊書）

- (1)コミック
- (2)実用書
- (3)ビジネス書
- (4)学術書・専門書
- (5)雑誌

文芸書（特に小説）は、まだ少ない



分野別市場規模



漫画の海賊版サイト 被害一兆円超の推計（21年分）

- 出版社などでつくる一般社団法人「ABJ」の調べで分かった。
- 海賊版サイトは、サイト上で作品を読む「オンライン型」とパソコンなどにデータを取り込む「ダウンロード型」の2種類があり、被害額はオンライン型に絞って推計した。
- 前年（約2100億円）の4・8倍に急拡大
- 漫画の海賊版サイトは約900に上る
- サイトでの滞在時間から読まれた冊数を試算して21年分を推計したところ、約1兆19億円だった。20年の正規の漫画市場（6126億円。出版科学研究所調べ）の1・6倍にあたる。



電子書籍サービス会社

サービス名（※1）	配信数	特筆ジャンル	定額読み放題	運営
<u>Kindle</u>	非公開	オールジャンル （洋書多数）	○ （和書12万冊、洋書120万冊）	Amazon.com
<u>楽天kobo</u>	400万冊	オールジャンル	同運営の雑誌読み放題 有り	楽天グループ株式会社
<u>dブック</u>	60万冊	オールジャンル	同運営の雑誌読み放題 有り	株式会社NTTドコモ
<u>まんが王国</u>	3000作品 以上	マンガ	-	株式会社ヒークリー
<u>ebookjapan</u>	74万冊	マンガ	-	



<u>BookLive!</u>	100万冊	マンガ (ビジネス也多め)	-	株式会社BookLive
<u>ブックパス</u>	60万冊	マンガ	○ (総合コース・マガジン コース)	KDDI株式会社
<u>BOOK☆WALKER</u>	80万冊	ラノベ	○ (マンガ、雑誌・ラノベ コース)	株式会社ブック ウォーカー
<u>U-NEXT</u>	68万冊	オールジャンル	○ (雑誌読み放題)	株式会社U-NEXT
<u>Kinoppy</u>	非公開	オールジャンル	-	株式会社 紀伊國屋 書店
<u>honto</u>	70万冊	オールジャンル オーディオブック (※2)	-	大日本印刷株式会 社
<u>DMMブックス</u>	非公開	成年向け書籍、同人 誌、ビジネス書	○ (成年向け書籍読み放 題)	合同会社DMM.com
<u>Audible</u>	非公開	オーディオブック	-	Audible, Inc.
<u>Reader Store</u>	70万冊	オールジャンル オーディオブック	-	



電子書籍は進化を狙うが不正との戦い

- 同一アカウントで複数の端末が利用可。
家族間で利用可（困難）
- 漫画の背景が動くもの
- フルカラー（重くなる）
- 辞書機能が付いているもの、ハイパーリンク
⇒ 新しい読書体験を提供
- オーディオブック



オーディオブック

- プロのナレーターや声優が本を朗読した「聴く本」をアプリで聴けるサービスです。
- 通勤中に、運動しながら、寝る前に などの使い方
- 近年、スマートフォンが普及し、インターネット上で購入するダウンロード販売が拡大している。
- 吉永小百合や長澤まさみさんの朗読などGood！
- Amazon Audible（オーディブル） 12万以上の作品
- Audiobook.jp（株式会社オトバンク）



出版業界における電子出版の直近の動き

- ここ10年、業界全体の売り上げは減少傾向
- 但し、直近はコロナで異変
- 2021年上半期の**電子出版**： 24.1%増
 - 電子コミック： 25.9%増
 - 文字もの： 20.5 %増
- **2021年初 時代小説の大家が電子化解禁を宣言**： 「居眠り磐音（いわね）」など人気時代小説シリーズを数多く送り出している**佐伯泰英**氏が文芸春秋から123作品を一挙に電子化（数年前から大家に折々打診していた結果）
- **文芸春秋社**は電子ストアの紹介や購入の方法などを日本経済新聞等に広告



問題点（解決の難しい項目も多い）

- デジタルデバイド（情報格差）を生じる可能性がある
- 電子機器としての弱点 例えば発展途上国での頻繁な停電
- 事業者側による電子書籍削除 サービス提供元の都合等により一方的に電子書籍が削除され、利用できなくなることがある
- 出版者による無断販売 海賊版電子書籍等
- 著作権保護と可搬性 電子書籍では当初からオンラインによる認証機能を設けたり、ダウンロードした端末以外で閲覧できないようにするといったハードウェア・キーを導入したりすることで、広範な複製は行なわれないようになっている。
- 電子化権利問題 電子書籍に関わる複雑な権利関係
- 著作権切れ出版物の供給



体験から学んだ電子書籍の大きな魅力

- 著作者の立場から：
 - 出版にお金がかからない
 - 自分のペースで、細部まで自己責任で出版出来る
 - 面倒な手続きを経て、Amazonから「受け付けた」の連絡がきたときの達成感
- 読者の立場から
 - 紙の本より圧倒的に安い
 - 読書中、目次クリックで、簡単に飛べる。
 - 書籍中に書き込みが出来る
 - 書籍中にハイパーリンクを付け、説明記事に飛ばすや内容の小説中における位置づけを示すことが可能
 - 特にシリーズ作品の場合、PRや説明にハイパーリンクを期待



西国の命脈を繋げた益田家物語

石見春舞台

～抗戦か和睦か恭順か
益田藤兼の悩みと迷い～

高津清流

写真撮影：吉崎佳慶氏



西国の命脈を繋げた益田家物語

郡山城大舞臺

「毛利の心を掴んだ」
益田藤兼の豪快な対処

高津清流



電子出版物の購入（KINDLEを例に）

- Step 1: 検索欄に書名を打つ
- Step 2: ○○やレビューを眺め、本のイメージを把握
- Step 3: 購入する前に確認
 - お客様のライブラリKindleの確認と 選択
 - Kindle Cloud Reader
 - Kindle for PC
 - Kindle for iphone
- Step 4: 「購入」をクリック
- Step 5: 読める事を確認 ⇨ 読む



電子書籍の出版方法

- ご要望が強ければ、1年後位にお話します
 - アカウント取得
 - 支払の受取
 - 税に関する手続き
 - 電子書籍のファイル形式：・ **EPUB**（標準形式）・ **Word** (DOC/DOCX)、・ HTML
 - でんでんコンバーター
 - Kindle出版の申請
 - 紹介文、プレビューでチェック、価格設定
- ご関心があれば、この後、個別に御相談下さい



今後共、「益田家物語」に関心をお寄せください

石見春舞台 （西国の命脈を繋げた益田家物語）
筆名 高津清流

郡山城大舞台 （西国の命脈を繋げた益田家物語）
筆名 高津清流

